

特集

# 生産概況で「適正」とする 見通しもOA機

当センターでは県内の主要発注先を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。  
受注活動の参考としていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。

## 県内発注企業の生産状況

### ① 現況

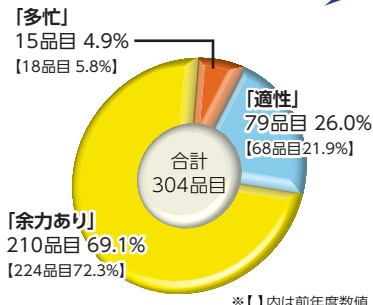


図-1 生産品目でみる現況

回答企業数110社の生産概況を生産品目総数304品目についてみると、「余力あり」が210品目69.1%で最も多くなっているが、前年度と比較すると14品目3.2ポイント減少している。(図-1)

製造分野別にみると、「多忙」は半導体が15.8%（前年度0.0%）で最も高く、次いで通信機器及びOA機器が共に9.1%（前年度3.3%及び0.0%）となっている。「適正」はOA機器が40.9%（前年度4.3%）で最も高く、次いで半導体が36.8%（前年度0.0%）となっている。「余力あり」は電気音響が93.5%（前年度69.0%）で最も高く、次いで住宅関連が83.3%（前年度83.3%）となっている。(図-2)

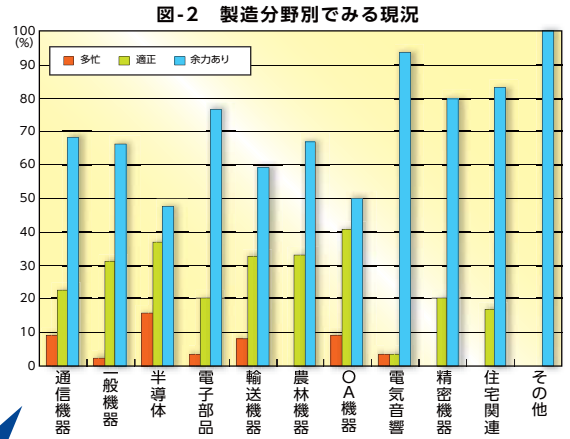


図-2 製造分野別でみる現況

### ② 見通し

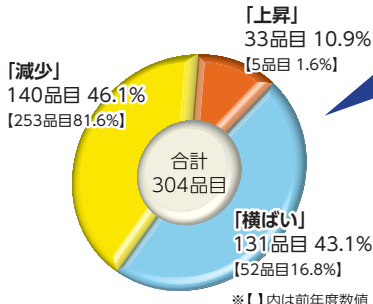


図-3 生産品目でみる見通し

今後の見通しを生産品目総数304品目についてみると、最も多いのは「減少」で140品目46.1%、次いで「横ばい」が131品目43.1%である。「減少」は前年度より113品目35.5ポイント減少している。(図-3)

製造分野別にみると、「上昇」はOA機器が27.3%（前年度0.0%）で最も高く、次いで半導体が21.1%（前年度0.0%）となっている。「横ばい」は農林機器が80.0%（前年度33.3%）で最も高く、次いでOA機器が54.5%（前年度13.0%）となっている。「減少」は住宅関連が75.0%（前年度83.3%）で最も高く、次いで通信機器が68.2%（前年度76.7%）となっている。(図-4)

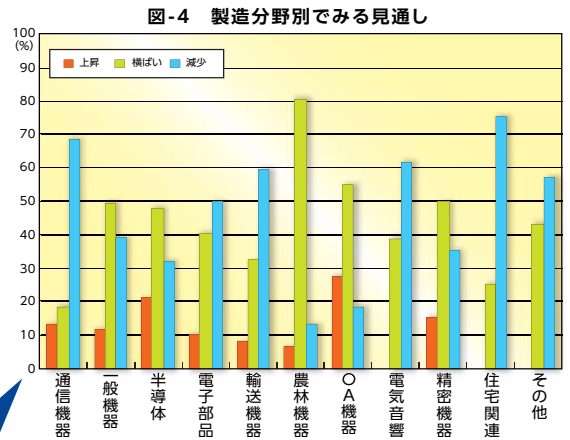


図-4 製造分野別でみる見通し

## 県内発注企業の外注状況

### ① 外注企業数

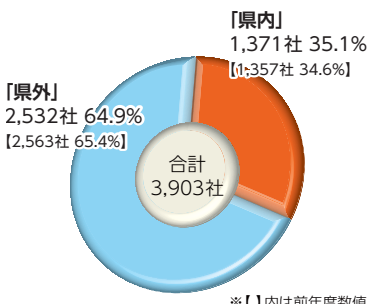


図-5 県内及び県外別の外注企業数

回答企業110社が外注している企業数は3,903社（延べ数、以下同）あり、前年度と比較して「県外」の割合がやや増加している。(図-5)

製造分野別にみると、一般機器が824社で最も多く、次いで精密機器が664社、輸送機器が450社となっている。  
さらに県内及び県外別で県内への外注割合が高い製造分野は、住宅関連の36社52.9%、半導体の173社46.8%、電気音響の163社46.7%となっている。  
逆に県外への外注割合が高い製造分野は、精密機器の544社81.9%、OA機器の280社77.3%、通信機器の185社70.6%となっている。(図-6)

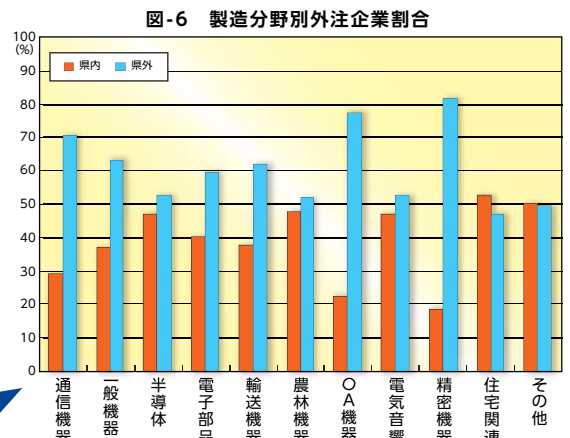


図-6 製造分野別外注企業割合

Subcontract needs investigation result

# 品目がやや増加、器・半導体などの分野で生産増か。

**目的** 県内主要発注企業の外注状況、下請企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介・あっせんの円滑化に資すること。  
**対象企業** 岩手県内所在の発注を主とする登録企業110社  
**調査方法** 訪問によるヒアリング調査  
**調査時点** 平成22年2月  
**コメント** 製造分野別では、「その他」についてはコメント(解説)していない。

## ② 外注金額

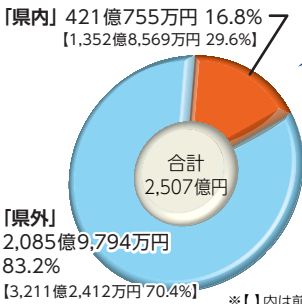
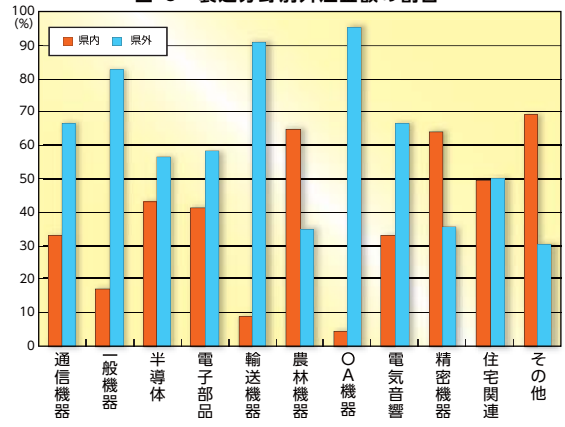


図-7 県内及び県外別の外注金額

回答企業110社の1年間での外注総額は、2,507億549万円(前年度は112社4,564億981万円)となっている。県内への外注は12.8ポイント減少している。(図-7)

製造分野別にみると、県内への外注は農林機器が65.0%で最も高く、次いで精密機器が64.4%、住宅関連が49.9%となっている。一方、県外への外注についてみると、OA機器が95.3%で最も高く、次いで輸送機器が91.0%、一般機器が82.9%となっている。(図-8)

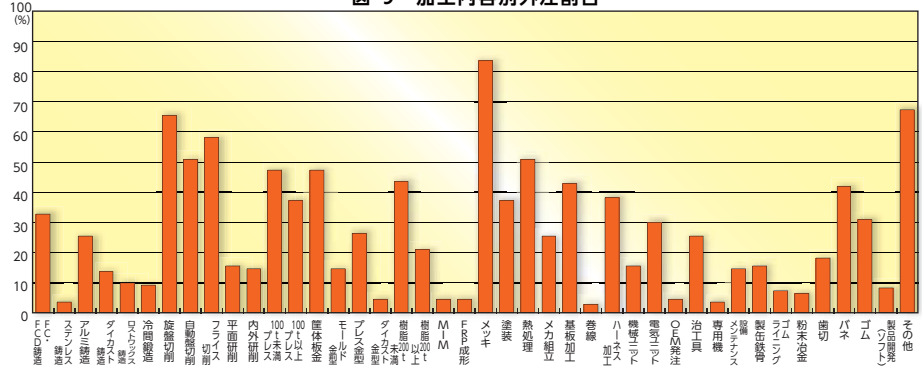
図-8 製造分野別外注金額の割合



## 外注している加工内容

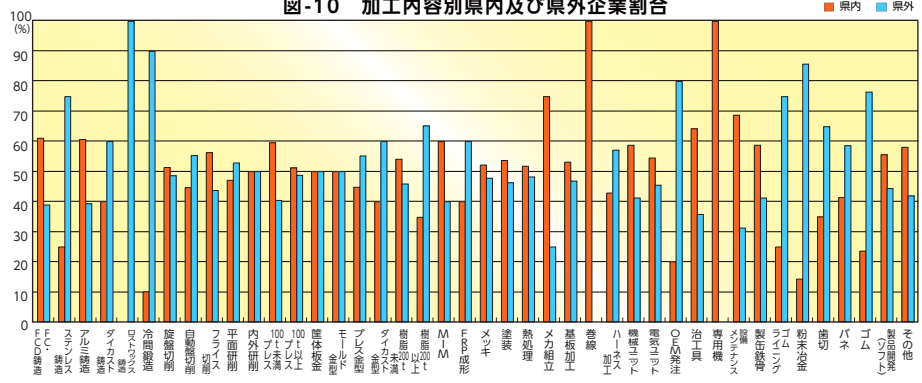
回答企業110社が外注している加工内容を見ると、「メッキ」が92社83.6%と最も高く、次いで「旋盤切削」の72社65.5%、「フライス切削」の64社58.2%となっている。(図-9)

図-9 加工内容別外注割合



県内及び県外別にみると、県内へは「専用機」及び「巻線」が100.0%で最も高く、次いで「メカ組立」が75.0%、「設備メンテナンス」が68.8%となっている。県外へは「ロストワックス鋳造」が100.0%で最も高く、次いで「冷間鍛造」が90.0%、「粉末冶金」が85.7%となっている。(図-10)

図-10 加工内容別県内及び県外企業割合



## 県内発注企業からの県内受注企業に求められる課題

県内の発注企業が、現在、県外の企業に外注している案件について、県内の企業に切替えるとした場合に求められる課題(複数回答)は、「コストダウンへの対応力」が72社(65.5%)で最も多く、以下「短納期化への対応力」「管理体制のレベル」「多種少量生産への対応力」「加工精度」の順となっている。(図-11)

図-11 外注企業(県内受注企業)に求められる課題(複数回答)

